

転生したら!? 電気の世界へ!



レンジ・アース

でんきあくま
電気悪魔
(ヴィラン)

エレキテル・デンキ

きみはなれるか?

でんきゆうしや
電気勇者に

ワット

ネオン

マスターせよ

あんぜん
安全な電気の
つか
使い方を
かた

関西電気安全委員会

後援 経済産業省 中部近畿産業保安監督部 近畿支部 電力安全課

START!

電気でんきの使い方つかいかたは、正しいただかな？ きみもキャラを選んで、それぞれのルートでゴールを目指そう！

正しい電気でんきの使い方つかいかたを学ぶとエレクトロインエレクトロインがゲットできるぞ！

エレクトロ・デンキルート

ギミックは何枚できるかな？

コードは束ねて良いのかな？

コードを束ねてはいけません。

コードを巻いたり束ねたりすると過熱し、火災などの原因になり危険です。

エレクトロイン3枚 GET!

ワット・ネオンルート

ま、まけないぞ！

危険人物発見!!

無資格者による電気工事はやめましょう。

無資格者による電気工事は、感電や事故につながります。なお、無資格者による電気工事は違法行為です。

エレクトロイン1枚 GET!

レンジ・ガスルート

行くぞー

ほーら、電気悪魔(ガイラン)が喜んでるよー。

熱が発生する電気機器は、使ったあとは必ず抜きましょう。

アイロンやドライヤー、電気ストーブなどはスイッチを切り忘れると火災の原因になるおそれがあるので、使ったあとは必ずプラグを抜きましょう。

エレクトロイン3枚 GET!

コードの悲鳴が聞こえるよ...

コードを傷めないようにしましょう。

コードが傷んで過熱し、火災などの原因となり危険です。また、家具でプラグを押し付けないようにしましょう。

エレクトロイン1枚 GET!

たくさん挿さっているね。

コードの挿し過ぎは危険です。

危険なだこ足配線はやめましょう。コンセントやテールタルツワの容量を超えて、一度にたくさん電気を機器を使うと過熱し、火災などの原因になり危険です。

エレクトロイン1枚 GET!

おいおい、アース線って知ってるのかな？

アース線を取り付けましょう。

洗濯機やエアコン、電子レンジ、冷蔵庫などのアース線を専用の接地端子に取り付けましょう。アース線は感電などの危険を未然に防ぎます。

エレクトロイン2枚 GET!

プラグの上には何か乗ってるぞ！

ときどきプラグやコンセントを掃除しましょう。

長期間プラグを挿し込んだままにしておくとほこりがたまります。プラグの現象(電気のまめちしきを参照)の原因となります。時々プラグを抜いて乾いた布などで掃除しましょう。

エレクトロイン3枚 GET!

げー！ひ、ひっばってる？

コードをひっぱらないで！

コードが傷んで断線や過熱の原因になるので、コードはひっぱらず、必ずプラグ部分をもって抜きましょう。

エレクトロイン2枚 GET!

キケン！キケン！

プラグ以外を入れないで！

コンセントにプラグ以外のものを挿すと感電するおそれがあります。小さいお子様がいる場合は使用しないコンセントにカバーの取り付けをおすすめします。

エレクトロイン2枚 GET!

あわ、あわ、プラグがプラグだよ...

奥までしっかりと挿しましょう。

プラグがゆるんでいると、過熱し、火災などの原因になり危険です。プラグはコンセントにしっかりと挿し込みましょう。

エレクトロイン1枚 GET!

おっ！ー!?プラグがボロボロだよ！

傷んでいたら新品に交換しましょう。

感電やショートの原因となるので、傷んだプラグやコンセント、コードは使用せず取り替えます。

エレクトロイン1枚 GET!

わー!!! 電気悪魔(ガイラン)だ!

ぬれた手でプラグをさわると危険です。

ぬれた手でプラグやスイッチをさわると感電のおそれがあります。さわる前によく手を洗い水を拭き取ります。

エレクトロイン3枚 GET!

GOAL!

ゴール

電気悪魔なんかやったい!

まじいわー!

エレクトロイン3枚ゲットで

きみも電気勇者だ!

3つのルートを制覇して全部のエレクトロインをゲットしよう!

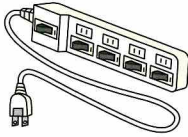
電気の正しい使い方はわかったかな? 定期的に確認して、家の安全を守ろう! 早速きみの家も、電気が正しく使えているか確認し、何個できていたのか記入しよう!

電気のまめちしき

安心、便利な器具のご紹介

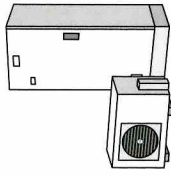
遮断器付テーパータップ

決められた電気の容量を超えると、内蔵されている安全ブレーカーが作動し、電気を止めます。電源を挿込口に2回入り切りできる節電スイッチがついているものもあります。



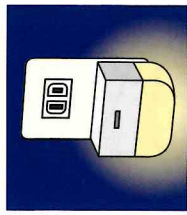
便利な200Vの電気機器

200Vの機器には、高効率のエアコン、IHクッキングヒーター、電気給湯器、家庭用の電気自動車などがあります。200V機器を使うには、その機器専用の屋内配線およびコンセントが必要となります。詳しくは販売店または電気工事店に相談してください。



停電のときでも安心な保安灯

コンセントに挿し込んでおくと、停電のときは自動的に点灯します。なお、ふだんは常夜灯として利用できるものや、コンセントからはずすと懐中電灯に使えるものもあります。



外で遊ぶときの注意点



電線の近くでたこあややラジコン飛行機、ドローンなどで遊ばないようにしましょう。



釣りざおが電線に近づくと感電する危険があるので注意しましょう。

※万一、電線などにひっかかった場合は必ずお近くの送配電業者に連絡をお願いします。

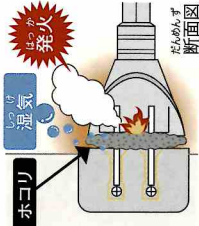
一緒に
一歩
勉強
しましょう!



こまめにチェックしましょう!

「トラッキング現象」に気をつけましょう。

火災の原因のひとつとして「トラッキング現象」があります。長期プラグを挿し込んだままにしておいたために、プラグとコンセントの間にたまったホコリが湿気を帯び、プラグの刃の間にわずかな放電が繰り返して起きることが発端となっており、プラグが突然発火する現象です。火災の原因になることがあるので、プラグやコンセント周りを乾いた布などで掃除しましょう。また、「トラッキング防止カバー」の取り付けも有効です。



確認
1回目

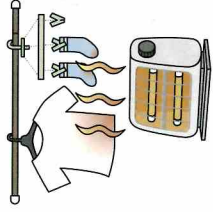
年 月 日

確認
2回目

年 月 日

電気火災に注意!

衣類や布団などの可燃物が電気ストーブの近くにあり、ちよつとしたははらずみで電気ストーブに接触し出火するおそれがあります。燃えやすいものの近くで電気ストーブを使用するのはやめましょう。また、照明器具やランプは、点灯時に高熱を発生しています。布や紙などの可燃物で覆わないようにしましょう。



長期間使用した電気機器に注意!

古い電気機器を使い続けていると、気づかないうちに部品等が劣化して事故につながるおそれがあります。「いつもと違う」「何か落だな」と感じたら、すぐに使用を中止してメーカーや販売店などに相談しましょう。



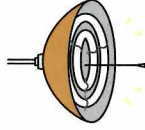
具体的に省エネのポイント

電気を上手に使うって省エネしましょう

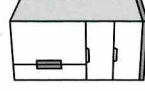
エアコンの設定温度は控えめに。フィルターをこまめに掃除することで省エネになります。



必要な照明以外は消しましょう。また、白熱電球や電球型蛍光灯はLEDランプに取り替えると省エネになります。



冷蔵庫の温度設定を「強」から「中」にするだけで省エネになります。また、扉の開閉回数や時間を減らすことも効果的です。

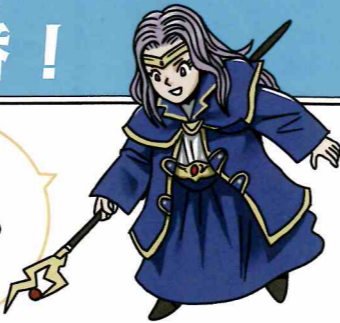


分電盤は電気の見張り番！

家庭に送られてきた電気は、分電盤をとって各部屋に届けられます。分電盤には、漏電遮断器(漏電ブレーカー)、配線用遮断器(安全ブレーカー)が取り付けられており、電気の安全をしっかりとガードしています。もしもの場合にそなえて分電盤がどこにあるのか、確かめておきましょう。また、分電盤の前には物を置かないようにしましょう。

分電盤には一般的に写真のとおり2つのパターン(電流制限器あり・なし)があります。

分電盤は電気安全のカギよ！



電流制限器

容量以上の電気が流れると自動的に電気が止まるしくみになっています。

※地域やご契約の種類、スマートメーター(デジタルで計測する電力量計)導入の有無などにより、電流制限器の取り付けがない場合や、色・名称が異なる場合があります。

漏電遮断器(漏電ブレーカー)

感電や火災の原因となる漏電をすばやく検知し、自動的に電気を止め、電気事故を未然に防ぎます。過電流に対応しているものもあります。長期間使用していると、経年劣化などにより正しく作動しなくなることもあります。ご家庭で定期的にテストボタン(灰色、赤色または緑色)を押して確認するようにしましょう(テストボタンを押して、正常に作動した場合は家全体が停電となりますのでご注意ください)。テストボタンを押しても作動しない場合は、お近くの電気工事店へご相談ください。なお、取り替えの目安は15年程度です。また、単相3線式(100V/200V使用可能)の配線には、「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」をおすすめします。

たびたび漏電遮断器が作動する場合は、電気工事店にご相談しよう。

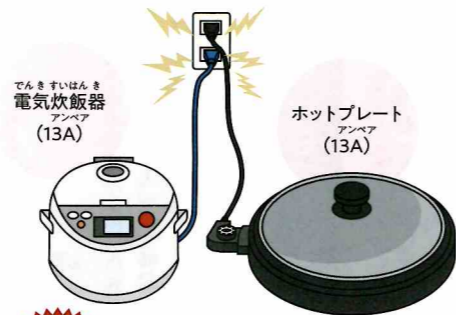


「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」とは?

多くのご家庭で使用されている単相3線式配線では、中性線の接触が悪くなると電圧が不安定になり、通電中の電気機器が故障することがあります。これはごく稀に漏電遮断器の端子部分のゆるみなどが原因で起こるもので、中性線欠相保護機能付き漏電遮断器は、このようなときに、いち早く電気を止めることができます。

配線用遮断器(安全ブレーカー)

電気の行き先(回路)ごとに、配線用遮断器がついています。配線が過熱するのを防ぐため、コードがショート(短絡)したり、決められた容量を超える電気が流れ続けると自動的に電気を止めます。例えば、電気炊飯器とホットプレートと同時に使用すると26Aとなり、配線用遮断器の容量20Aを超えるため、配線用遮断器が作動して電気を止めます。エアコン、衣類乾燥機などの電気を多く使う機器は、専用回路にすることをおすすめします。



13A+13A=合計26A
容量オーバーで配線用遮断器が作動!

災害にそなえましょう

災害はある日突然やってきます。普段から災害時のそなえや心がまえをしておけば、いざというときにもあわてずに済みます。

あわてないためにそなえよう!



1 アツ地震! グラツときたときは

スイッチを切って、プラグを抜いて

地震のときは火災に注意。アイロン、ドライヤー、ストーブなどの熱を出す機器を使っているときは、プラグをコンセントから抜きましょう。

電流制限器が漏電遮断器を「切」にして避難

地震でいったん(もしくは一度)停電になっても、送配電事業者の設備に問題がなければ、再び電気は送られてきます。自宅を離れ避難するときは、電気の消し忘れなどによる事故(通電火災)を防ぐために、分電盤の電流制限器または漏電遮断器を「切」にしてください。地震がおさまったら電気機器の安全をチェックしましょう。ガス漏れのおそれがあるときには電気を使わないようにしましょう。



※強い地震を感じし自動で遮断する感電ブレーカーというものもあります。

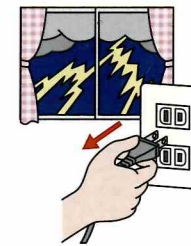
日頃のそなえ

- ◆日頃から、懐中電灯(手動発電式のものもあります)や携帯ラジオ、防災リュックなどを用意しておきましょう。また、電気の契約先(小売電気事業者)や電気工事店の連絡先を確認しておきましょう。
- ◆モバイルバッテリーや手動発電機等、携帯電話やスマートフォンなどを充電できる装置を用意しておく、いざというときに役立ちます。
- ◆停電によるパソコンのデータ消失などを防ぐには、UPS(無停電電源装置)などの設置をおすすめします。

2 ピカッ、ゴロゴロ 雷だ!

プラグを抜いて!

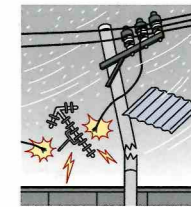
落雷による影響で、電気機器が壊れたり、火災が発生することがあります。近くで大きな雷が鳴ったら、電気機器のプラグはコンセントから抜き、電話線もモジュージャックから抜くようにしましょう。なお、雷に対応した分電盤もあります。避雷器が内蔵されている分電盤は、電源線、アース線より侵入する雷から、家庭の電気機器を守ってくれます。



3 台風・暴風雨にそなえて

飛来物防止のために屋外設備等をしっかりチェック

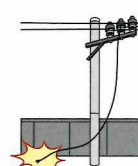
強風でアンテナやトタン屋根、自転車等のカバー、ハウス等のビニールシートなどが飛ばされ、電線・電柱にかかると、断線や電柱倒壊等を引き起こし長期停電の原因になります。台風などによる強風にそなえ、あらかじめ屋外に設置されているものはしっかり固定することを心掛けましょう。また、台風による浸水などで屋内配線や電気機器が水に浸ってしまった場合は、使用前に必ず電気工事店などにご相談ください。



4 切れた電線には絶対にさわらないで!

送配電事業者へすぐご連絡を

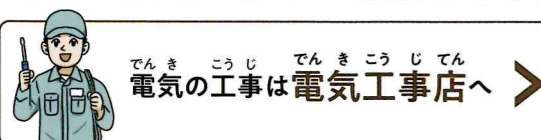
たれ下がった電線にさわると感電するおそれがあります。切れた電線には絶対にさわらないでください。また、樹木や看板、アンテナなどに電線がふれている場合も危険です。見つけたときには近づかないで、すぐ、お近くの送配電事業者にご連絡ください。



関西電気安全委員会は、電気事故を防止し、安全を図ることを目的に事業を行っています。

- 関係官庁(順不同)
経済産業省近畿経済産業局、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、京都市消防局、神戸市消防局、姫路市消防局、大津市消防局、奈良市消防局、和歌山市消防局
- 協賛団体(順不同)
(一社)日本電機工業会、(一社)日本電線工業会、(一社)送電線建設技術研究会、(公社)日本電気技術者協会、(一社)日本電設工業協会、(一社)日本建築協会、(一社)日本建設機械施工協会、(一財)電気安全環境研究所、(一財)関西電気保安協会、(一社)関西電気管理技術者協会、(一社)大阪地中線協会、発変電技術研究会、関西電気工事工業会、関西電線販売業協同組合、大阪府電設資材卸業協同組合、近畿ボイラー・タービン主任技術者会、(一社)日本電気協会、兵庫県電気協会、滋賀県電気協会、奈良県電気協会、和歌山県電気協会、関西内線工事研究会、関西電気協会、電気新聞
- 協賛企業(順不同)
浅海電気(株)、(株)エネゲート、関西電力送配電(株)、(株)関西エネジーソリューション、(株)かんでんエンジニアリング、(株)サービス(株)、(株)きんでん、(株)東原工業(株)、(株)友友電気工業(株)、(株)ダイヘン、(株)電源開発(株)、(株)東芝エネルギーシステムズ(株)、(株)日新電機(株)、(株)パナソニック(株)エレクトリックワークス社、(株)日立グローバルライフソリューションズ(株)、(株)日立製作所、(株)古河電気工業(株)、(株)三菱電機環境システムズ(株)、(株)明電舎

企画・編集:電気安全全国連絡委員会 発行:©一般社団法人日本電気協会 <https://www.denki.or.jp>



電気の工事は電気工事店へ

電気の屋内配線工事は、「電気工事士」の資格を持った人が電気の技術基準を守って工事をするように法律で定められています。電気の工事が必要なときは、電気工事店に依頼してください。